

第四次総合計画の現在の総括

将来像

協働・創造・未来の鼓動 実感“ながい”

第四次総合計画の内容

基本目標 No. 4	(基本目標総数 7)
基本目標	自然と調和した美しい環境のまち
主要施策 No. 12	(主要施策総数 22)
主要施策	循環のまちづくり
基本施策	①レインボーブランを中核とした循環型社会の構築
主な事業	コンポストセンター運営事業 レインボーブラン推進事業/地元農産物を活用した名産品づくり調査研究事業 構造改革特別区域農地賃借事業 集団資源回収事業/ごみ収集所設置事業 廃棄物減量対策事業/不法投棄防止事業 一般廃棄物等収集運搬等事業/置賜広域行政組合分担金

計画別

関係する個別計画	長井市環境基本計画
----------	-----------

総括内容

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・レインボーブランの推進もあり、生ごみを含めたリサイクル率は県内でも上位となっている。また、H14年から資源ごみ（ペット・プラ類）収集の開始、市内に一般収集所149ヵ所を設け、廃棄物減量等推進員140名、同補助員400名を選任してごみの減量化を図った結果、不燃系ごみの量が前年比約1,000トン減少し、市民にリサイクルの意識が高まった。 ・市内小中学校の学校給食に供される米飯について、全量レインボーブラン認証米を使用、米以外の認証野菜も一部使用し、市内小中学生のレインボーブランへの理解が深まっている。 ・H23年にはレインボー野菜を使用したスイーツを開発した。5品が商品化され、市内の菓子店、飲食店で販売されている。 ・市外における成果に関しては、毎年約50件の視察があり、循環型社会の意識の高まりからレインボーブランが世間の関心を集めている。また、H21年からは大学生もフィールドワークに訪れ、充実した学習活動を行っている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・レインボーブランは開始以来15年が経過したが、スタッフ、市民ともに世代交代が進んでいない。認証農家の数も減少傾向にある。また、堆肥化プラントの老朽化が喫緊の課題。市内の製造業者とも話し合いをしたが、現状ではプラント全体を補修することは難しい。 ・市民のごみを減らす暮らしの推進、リサイクルへの取組みが進む中、生活様式の変化とともに、自動販売機やコンビニストアの増加、一部のモラルの低下が相まって、未だに不法投棄が後を絶たない。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・レインボーブランについては、若年層への普及・啓蒙活動にさらに力を入れる必要があるとともに、ブランド力を活かした安心安全な農産物の拡大が必要。また、認証農家の減少の原因を分析する必要もある。 ・堆肥化プラントの補修については、今後も市内業者による補修を模索していく。 ・周囲の景観を損ない、不快感を与える不法投棄に対して、美化推進員と連携を強化し、一層効果的なモラルの向上を訴える啓発と環境美化対策を講じていく必要がある。 ・エコショップ認定制度の実施や商業のエコ活動への支援については、現在のところ把握しきれておらず今後実施するかどうか検討が必要である。

第四次総合計画の現在の総括

将来像

協働・創造・未来の鼓動 実感“ながい”

第四次総合計画の内容

基本目標 No. 4	(基本目標総数 7)
基本目標	自然と調和した美しい環境のまち
主要施策 No. 13	(主要施策総数 22)
主要施策	共生のまちづくり
基本施策	①環境保全の取り組み ②景観保全、景観形成の取り組み
主な事業	環境ISOの推進、環境関係事業 水源地域活性化事業、地下水位等観測業務 ダイオキシン類・放射線測定事業 かわまちづくり推進事業、都市再生整備事業 絆の森交流事業、古代の丘管理事業 公園維持管理業務 景観形成推進事業、「長井の文化的景観」調査事業

計画画別

関係する個別計画	長井市環境基本計画、かわまちづくり計画 都市再生整備計画、景観計画
----------	--------------------------------------

総括内容

成果	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全については、環境ISOへの取り組みや長井市ポイ捨て条例の施行等により、環境美化意識の啓発が図られている。また、H23には長井ダムの完成を機に発足した「水源地域ビジョン会議」によって環境教育や啓発事業等を行う体制づくりができた。 景観保全・景観形成については、フットパスや舟通し水路、長井駅西広場等の親水空間が整備されたほか、景観条例の施行及び景観計画の策定（H23）により、景観を守り育てていく体制が整えられた。 東日本大震災に伴う原発事故による放射性物質の問題に対して、市民の健康被害を防ぎ、安全安心な生活を守るため、市役所組織間での連携により大気中の放射線測定を実施している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 景観保全・景観形成については、既存の公園や施設の老朽化が進んでいて、今後の維持管理や長寿命化のための取り組みが大きな課題となっている。また、新たに整備した施設の維持管理と景観保全も今後の課題となっている。 水源地域の保護については、産業廃棄物処理施設建設への監視や長井ダム周辺環境整備をどのように進めていくかが課題となっている。 新たな課題として、東日本大震災による原発事故問題に対応するため、放射線対策や再生可能エネルギーの導入について取り組みを進める必要がある。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 景観保全・景観形成については、観光振興計画によって公園の整備方針を示し、再整備・長寿命化対策を図っていく。また、景観条例及び景観計画の啓発活動や景観重要地区の検討、文化的景観の保全・形成の取り組みを進めていく。 再生可能エネルギーについては、市民意識の醸成に努める。また、災害時の避難所等の機能維持のため、公共施設に再生可能エネルギーによる発電設備の導入を進めるなど、積極的に取り組んでいく。